

山岳ぐんま

平成二十一年度

群馬県山岳連盟総会報告

群馬県山岳連盟編集委員会

平成二十一年五月二十三日(土)

群馬県山岳連盟が前橋市上毛会館において開催された。開会の冒頭、羽野順一会長が、次年度本県で開催される国体関東ブロック大会の準備、本年第二〇回大会を迎える

山田昇記念杯登山競争大会、また、組織の拡充をめざす個人会員導入等、本年度山岳連盟の取り組みについて会員皆さんの一層の協力をお願いしたいと挨拶した。

議案審議は平成二十年度事業報告から始まり、女屋等志事務局局長が総会議案書に従って、総務委・編集委・遭難対策委・登山指導委・競技委・海外登山委・自然保護委・事業委の各委員会にわたって説明を行い、また、表彰受賞等および新たに加盟団体に加わったクラブ・シグマ、アイス・エクストリーム・クラブについて、更に山岳渓流会岩遊二〇周年記念祝賀会について報告した。

引き続き平成二十年度収支決算報告、同基金調書、同競技力向上

対策事業収支決算書について説明が行われ、これらについて、藤沼隆男監事から適正に処理されていたとの監査報告があり、一括して拍手多数で議案書通り承認された。

次に、平成二十一年度事業計画、同行事一覧表、また、平成二十一年度収支予算、同交付金・補助金・委託料の内訳について提案され、一括審議されて、これらも議案書通り承認された。

次の議案は群馬県山岳連盟の規約の一部改正についてであり、これは第5条(会員の種類)に「(4)個人会員 加盟団体に所属しない個人で、会長の承認を受けた者。」を加え、これに対応して第6条(会費)に「(2)個人会員 年額五〇〇〇円とする。」を、また、第21条(専門委員会)に「(9)個人会員委員会」を加えるとともに、第7条、第8条を次のように改めるものである。即ち、「第7条(加盟方法)この連盟に加盟しようと

する者は、次のとおりとする。

(1)正会員 所定の加盟申請書を提出して、理事会の承認を得た後加盟金一〇〇〇〇円と1年分会費を納入しなければならない。

(2)特別会員並びに名誉会員は入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員となり会費を納めることを要しない。(3)個人会員

所定の加盟申込書を提出して、会長の承認を受けなければならない。「第8条(資格の喪失)この連盟の会員は次の事由によつて資格を喪失する。(1)退会したとき。(2)団体である会員が解散したとき。(3)除名されたとき。

(4)会費を3年間滞納したとき。(4)死亡、若しくは失踪宣言を受けた者。以上の規約改定案が拍手多数で承認された。

続いて、「群馬県山岳連盟遭難救助隊編成及び運営細則」の一部改定について、また、「群馬県山岳連盟個人会員細則」の制定について審議が行われ、それぞれ議案

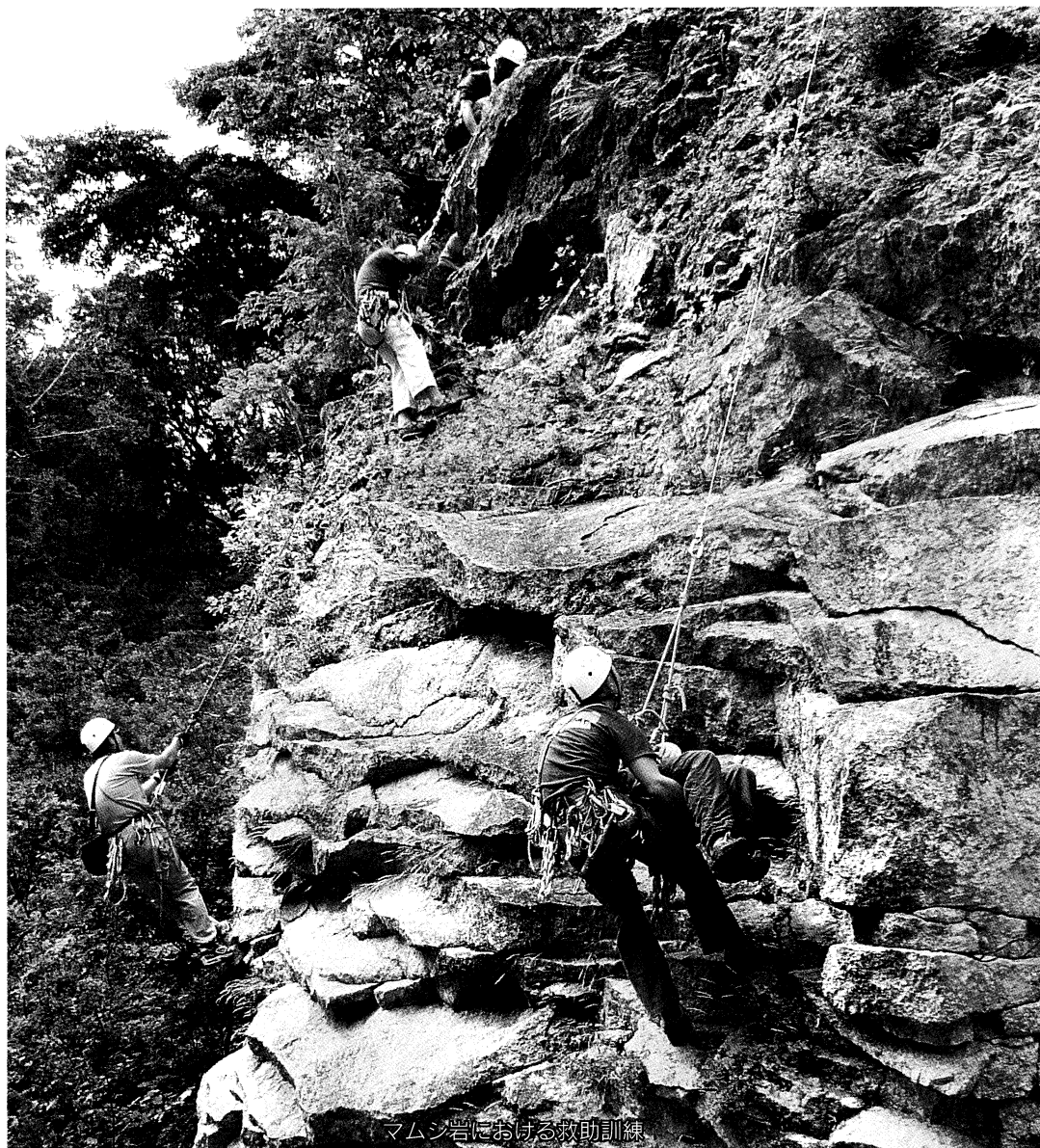
書の通り承認された。

この総会の中で、表彰式が挙行された。前沼田警察署谷川岳警備隊隊長小暮茂樹氏に、谷川岳警備隊二十二年在職中の指導助言に対して感謝状を贈り、また、前群馬県山岳連盟会長・沼田山岳会会長星野光氏に群馬県山岳連盟二十四年間の功労に対して、また、平成二十一年四月十六日逝去された池澤常平氏に群馬県山岳会会長四十七年間の功労に対して、本連盟表彰規定により表彰状が贈られた。

総会終了後、恒例の山岳連盟懇親会が催され、賑やかに懇親が深められた。

《群馬県山岳連盟参与》(敬称略)

小林次郎(登高会)、石井謙一郎(伊勢崎)、田中成幸(登高会)、洪澤真一(境)、中原正喜(ミヤマ)、月岡武久(星稜)、吉田茂作、田中壯吉(鵬翔)、太田忠行(独峰)、加藤藤夫(富士重工)、樋口宗平(桐生)、水野金太郎(沼田)、悴田正也(高体連)、大澤 清(高体連)、中澤安信(伊勢崎)、牛久保 拓(伊勢崎)、井下隆弘(伊勢崎)、原田惣司(倉淵)、村上泰賢(倉淵)、竹山繁男(独峰)、松永幸雄(沼田)、寺内正明(前高OB会)



マムシ岩における救助訓練

《平成二十一年度主要事業計画》

一、遭難防止活動の推進

谷川岳を中心とした地域の遭難防止のためのパトロールの実施、救助活動および救助隊の技術の向上のため訓練を行う。

二、国民体育大会への参加と選手強化

第六十四回国民体山岳競技関東ブロック大会（千葉県）、「トキめき新潟国体」（新潟県）への参加と好成績を目標とする選手強化を推進する。

三、日山協主催行事等への参加と各会の交流

日山協行事等に参加するとともに、各会との交流を深め、研修会等を通じて技術の向上、岳人としてのモラルの高揚を図る。

四、美化運動等市民運動への参加

尾瀬のゴミ持ち帰り運動および谷川岳等の美化運動等の推進に協力する。

五、岳連会報の発行

『山岳ぐんま』の発行を通じ、会員相互の結びつきと啓発を図る。

六、海外登山の実施

第十次群馬岳連ヒマラヤ登山を計画する。

七、第二十回山田昇記念杯登山競争大会の開催

群馬が生んだ登山家、山田昇および三枝照雄両氏の業績を後世まで伝えるため、登山の基本である体力を競い合い、登山の啓蒙・普及・発展の一助とする登山競争大会を開催する。

期日 九月二十七日（日）

会場 利根郡川場村 武尊山

八、第二十五回群馬県民の日記念事業「第三十二回県民登山大会」の開催

「ぐんま山と森の月間」協賛イベントおよび「県民の日」制定記念事業の一環として、一般県民から参加者を募集し、県民登山大会を開催する。

期日 十月二十五日（日）

会場 赤城山東面

九、各種研修会及び講習会の開催

登山指導委員会および遭難対策委員会が主管して、県民一般および岳連会員を対象に登山技術講習会を開催するとともに、登山指導員の資質の向上を目的として研修会を開催する。

十、個人会員の組織と情報サービスの提供

未組織登山者又は岳連会員以外の登山団体に対して個人会員を組織し、安全登山の普及と活動に関する情報サービスを提供する。

十一、国体関東ブロック大会の準備

第六十五回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会開催の準備を推進する。

十二、山の文化 in GUNMA の共催

日本山岳文化学会、日本ヒマラヤ協会と共催し、山を多角的な文化面から大いに研究、振興して、後世の人達へ文化遺産として伝承することを目的に開催する。

期日 十一月二十九日（日）

会場 ベイシア文化ホール（群馬県民会館）

十三、岳連事業収入の確保

岳連の事業・事務を円滑に推進するため、平成二十二年版山岳写真カレンダーの制作頒布などの事業を行い、自主財源を確保する。

期日 十月二十五日（日）

会場 赤城山東面

平成21年度群馬県山岳連盟加盟団体一覧

2009.12.10現在

山岳会名	郵便番号	所在地	電話番号	代表者名
吾妻山岳会	377-0811	吾妻郡東吾妻町大字郷原601 山崎孝利方	0279-67-3056	山崎孝利
安中山の会	379-0133	安中市原市1-8-10 萩原孝志方	027-385-9585	萩原孝志
伊勢崎山岳会	372-0015	伊勢崎市鹿島町441-2 曾根利明方	0270-26-5476	曾根利明
太田山岳会	370-0401	太田市尾島町481 阿久津幸弘方	0276-52-0065	阿久津幸弘
大間々山岳会	376-0101	みどり市大間々町650-5 藤沼隆男方	0277-73-0096	藤沼隆男
桐生山岳会	376-0004	桐生市天神町1-1-31 吉田秀樹方	0277-46-4827	樋口宗平
群馬登高会	370-0046	高崎市江木町1056 すみれ幼稚園内	027-322-8502	小林次郎
群馬独峰会	375-0015	藤岡市中栗須689-8 吉崎照二見方	0274-22-3198	茂木稔
群馬ミヤマ山岳会	371-0123	前橋市高花台1-6-5 佐藤光由方	027-269-1143	宮崎勉
群馬むすびの会	371-0851	前橋市総社町植野225-2 須田栄一方	027-251-0206	須田栄一
群馬県高体連登山専門部	373-0809	太田市茂木町380 群馬県立太田工業高校内	0276-45-4742	菅原茂
境町山の会	372-0842	伊勢崎市馬見塚町3255-9 小暮文彦方	0276-56-8857	小暮文彦
渋川岳想会	377-0006	渋川市行幸田3204-6 永井伸之方	0279-24-7475	梅津清
信越化学群馬事業所山岳部	379-0127	安中市磯部2-13-1 信越化学工業(株)群馬事業所内	027-385-2111	北沢幸晴
高崎山岳会	370-1201	高崎市倉賀野町上町687 新井邦光方	027-346-4586	黒川篤
中之条山の会	377-0424	吾妻郡中之条町中之条949-3 長谷川 勇方	0279-75-2741	長谷川 勇
沼田山岳会	378-0032	沼田市碓田町142-1カタノハイッD号 見城正造方	0278-22-7734	星野光
富士重工業群馬山岳部	373-8555	太田市スノビル町1-1 富士重工業(株)群馬製作所モデル課内	0276-26-3681	関口 賢
前橋山岳会	379-2147	前橋市亀里町146-1 小泉俊夫方	027-265-0594	小泉俊夫
松井田山岳会	379-0304	安中市松井田町北野牧18364 佐藤悦良方	027-395-3514	高木 幹
前橋高校山岳部OB会	371-0056	前橋市青柳町193-1 植木康夫方	027-233-2800	植木康夫
水上山岳会	379-1612	利根郡みなかみ町小日向184 木村一夫方	0278-72-3394	中島正二
山岳溪流会岩遊	378-0043	沼田市東倉内町557-11 豊野則夫方	0278-24-0635	豊野則夫
クラブ・シグマ	373-0042	太田市宝町714-2 町田幸男方	0276-32-3240	町田幸男
アイヌ・エクスプロームクラブ	378-0102	利根郡川場村川場湯原2681 桐ノ水平キャンプ場内	0278-52-2442	山本泰司
日本山岳写真協会両毛支部	379-2153	前橋市上大島町176-44 蔵前産業(株)内	027-261-3552	橋本 勝



第五回アイスクライミング・ジャパンカップ報告

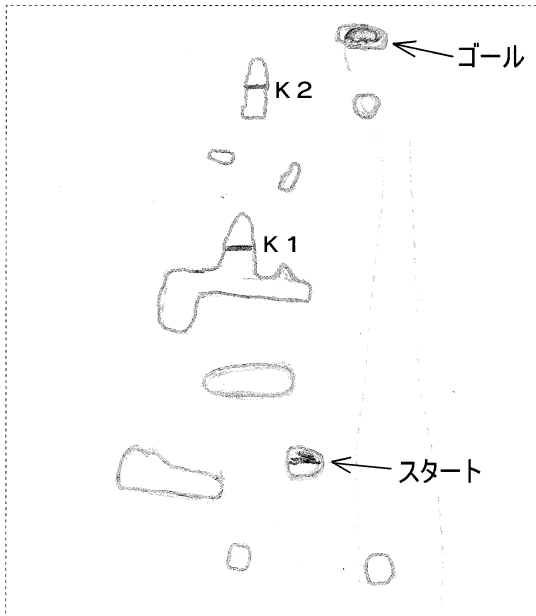
群馬県高体連登山専門部 長谷川喜久男

アイスクライミング・ジャパンカップが昨年に引き続き、日本山岳協会主催・群馬県山岳連盟主管で実施されました。期日は平成21年2月7日(土)、8日(日)、場所は昨年同様六合村にあるアイスクライミング施設「アイスエクストリーム」です。今回は全国から男子19名、女子7名の競技出場者となり、ルートセッターにカナダからウィル・ガッド氏を迎えて、競技だけでなく氏のスライドショーなどもあり、昨年度同様に多彩な内容で開催されました。

主な大会スケジュール

2月7日
 9:00 選手受付
 10:00 開会式、ルール説明
 11:00 男女ルート競技予選
 14:00 アイス、ミックス技術講習会
 16:00 スピード競技予選
 17:00 イベント 懸垂大会
 18:00 イベント スライドショー

2月8日
 9:00 男子ルート競技準決勝
 10:00 女子スピード競技決勝
 10:30 男子スピード競技決勝
 13:00 クライミングToto アックス投げ
 14:00 女子ルート競技決勝
 15:30 男子ルート競技決勝
 表彰式&閉会式



アイス課題1(女子)

アイス独特のルールなど
 選手は2本のアイスアックスとアイゼン付きシューズの装備で壁を登ります。氷壁には図のように赤ペイントで印がつけられており、この枠からはみ出さないように制限されてアックスやアイゼンを氷に突き刺して登ります。図は女子予選の第1課題です。途中K1、K2のボーンパスポイントがあり、ゴールしたポイントに次ぐ成績としてカウントされます。
 アイゼンやアックスには様々な種類があり、氷に労力をかけずに的確に打ち込めるよう、その選択や改良、



丸太を登るWill氏



スピード競技



男子優勝の吉田選手

先端を研ぐなど選手が工夫を凝らします。アックスへの体重のかけ方はサイドプルやアンダーなどクライミングと同じですが、アンダーにかけて真下にぶら下がることのできるのも特徴です。

はアックスの持ち替えがありません。口にくわえたり、肩や膝などにかけて左右で持ち替えます。この動作は効率的なムーブなので、体を休めるレストと併せて頻繁に行われます。ルーフなどで天井からぶら下がるような体勢となったときに、腕に足をかけることができます(フィギュアフォー)。また、

ヒールの爪をホールドにかけてコウモリのようにぶら下がることができます。ただし、アックス同士をかけたリ、アックスに手から肘まで以外を直接かけてのレストは禁止です。

ドライ部分にはクライミングと同じホールドも使われます。また、アックスが刺せるようなホールド



女子優勝の高橋選手

や角材などもあります。自然の長い丸太や、ピノキオやマグロといった丸太を加工して天井からぶら下げたようなアイス独特のホールド類も使われます。選手はここにアックスをかけるか突き刺すか、アイゼンのつま先の爪を突き刺すか、踵の爪をかけるかなど選択して登ることになります。

ルート競技予選

男女・ルート競技予選は、セツ

ション形式(1ルートに制限時間5分で、3トライまで)でおこなわれました。それぞれ氷壁と丸太とドライ壁を含む3ルートの完登数や獲得K点で競いました。男女とも昨年より選手の実力がアップしており、男子は3ルートとも完登した10人が予選通過となりました。このうちの8人は各ルートとも1トライで完登しています。女



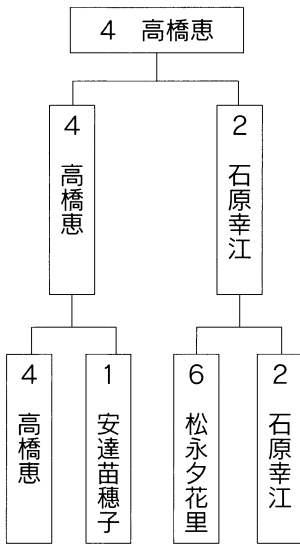
5位入賞の長谷川選手

子の同じく3ルート完登の6人(4人はすべて1撃)が通過となりました。

群馬からは、男子では桜澤選手(沼田山岳会)と木暮選手(沼田山岳会)が参加しましたが惜しくも予選敗退となりました。女子では長谷川選手(前橋女子高校)が予選を通過しました。

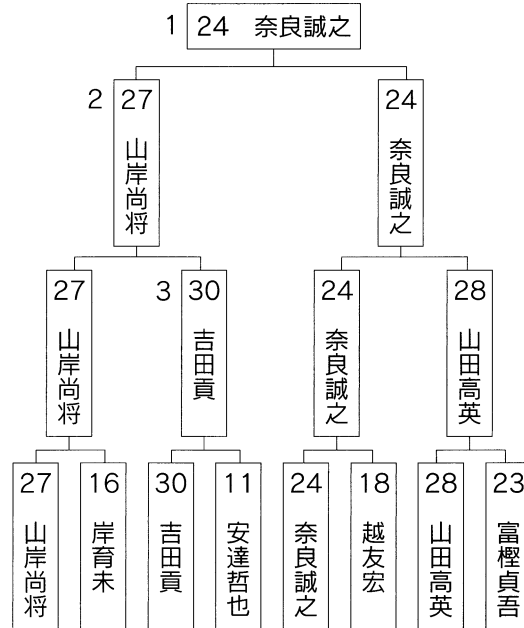
SPEED女子決勝

1位	高橋恵
2位	石原幸江
3位	安達苗穂子



SPEED男子決勝

1位	奈良誠之
2位	山岸尚将
3位	吉田貢



スピード競技予選

スピード競技予選は、男女ともA・Bの2コースに分かれゴールの到達時間を競いました。ルートは垂直の水壁で、スタートラインからゴールまで登り方に特に制限はありません。手数を多くして早く細かい動作で登るか、リーチをのびたり、飛びつくように登ったりと選手によりいろんなスタイルがありますが、とにかく早く登るだけです。選手の登りが早い

でビレイヤーはエイト環を使用し2人1組で行いました。男子8名、女子4名が決勝に進出しますが、残念ながら群馬県勢は予選敗退でした。

イベント

ルートセットや競技集計の合間に、アトラクションとして懸垂大会、アックス投げ(掛け)、クライミングTotoが行われました。懸垂大会はアックスにぶら下がり

単純に回数を競うものでした

が、選手の部と一般の部に分かれて行われました。数人がトライすると盛り上がりつつきて、最後の方の選手は上半身裸で素足となり本気モードで懸垂を繰り返していました。アックス投

げは輪投げと同じ要領でアックスを投げ、指定された部分に掛かると賞品がもらえるというもので、ギャラリーを中心に選手やスタッフも盛り上がりつつ行っていました。

男子

順位	名前	決勝順位	準決勝順位	予選順位
1	吉田貢	優勝	3	1
2	奈良誠之	2	1	1
3	石井昭彦	3	4	1
4	石渡健	4	5	1
5	山岸尚将	5	2	1
6	岸育未	6	5	1
7	大前義孝		7	9
8	越友宏		8	1
9	山田高英		9	9
10	横川秀樹		10	1
11	富樫貞吾			11
12	安達哲也			12
13	平林義有			12
14	清水智			14
15	佐藤広樹			15
16	櫻澤斉			16
17	澤井京太			17
18	大谷薫			18
19	木暮太二			19

女子

順位	名前	決勝順位	予選順位
1	高橋恵	優勝	1
2	石原幸江	2	1
3	安達苗穂子	3	1
4	山岸亮子	4	1
5	長谷川美玲	5	5
6	石間真理	6	6
7	松永夕花里		7

アイス・ミックス技術講習会

ルートセッターのウィル・ガット氏による技術講習会はまず水壁から始められました。アイスエクストリーム・スタッフの金さんの通訳で質問にも答えながら行われました。まず水壁では、昔の「三点支持」の延長にあるような登り

方と、カウンターバランスや「体の振り」などを使った登りを見せてくれました。このように目で見てわかりやすいものもありましたが、通訳の難しさも実感できました。アックスを打ち込むには「ライス・ボウル」がキーポイントであるとのことでしたが、会場の日本人にはこのライス・ボウルが何であるかがわかるまで時間がかかりました。氏は、とにかく良く氷を観察して、頭を使って登りなさ

スライドショー

一日目の夜にウィル氏のクライミングだけでなくさまざまな活動を中心に紹介するスライドショー

いと繰り返していました。その後、ドライ壁・丸太の登りや、アックスを使用せず素手で登るなどのデモンストレーションをしてくれるなど、言葉の理解できない部分はありません。言葉の理解できない部分はありません。言葉の理解できない部分はありません。

が行われました。父親の影響で幼

少時から登山・クライミングを始め、アイスクライミングのコンペでの活躍、パラグライダーの世界記録達成、流水のクライミング、地下に広がる洞窟内でのアイスクライミング、テレビなどのキャスターの仕事など内容が多岐にわたりました。そしてカナダを中心とするスケールが大きく、とてもきれいなクライミングエリアなどが紹介されました。氏の人生観とアイスクライミングや様々な仕事などについて語られたことは、選手や一般の参加者にも大きな感銘を与えてくれたことと思います。

ルート競技 男子準決勝

男子準決勝は正面のドライ壁をトラバース気味に登り、ピノキオを経由してオーバーハングのルーフを進むというコースで行われました。オンサイト方式で、選手はアイソレーションに隔離され、前の選手の登りを見られず、一人一人順番に登ります。オーバーハングでのフィギュアフォーなどのテクニクに慣れているかで差がつかしました。6位までが決勝戦に進出しました。

スピード競技決勝

続いてスピード競技決勝が行われました。左右のルートを2人が同時に登り、トーナメント対決方式で競いました。結果は以下の通りです。

ルート競技 女子決勝

午後になり、女子決勝がスタート。下部は右側氷壁から正面のドライ壁に移り、ルーフを渡り、最後は水平のルーフの先端がゴールというコースで行われました。競技時間8分で途中フォールの時は再登可であったが、長いルートのため2本目まで有効な時間を残した選手はいませんでした。最後の水平に近いルーフまで抜けるのが難しく、ここまで到達したのが高橋選手でした。高橋選手はここから終了点まで3手を残しフォール。その後、昨年度優勝の石原選手が余裕のある登りで氷壁を抜けてきましたが、ルーフに届くあたりから少してこずっている感じが見え、高橋選手のフォール地点手前2手で終了となりました。結局、ボルダリング競技で活躍著しい高橋選手の優勝となりました。アイスクライミング常勝の石原選手も、今回は世代交代となりました。

3位争いも激しく、安達選手と山岸選手は同高度ながら到達タイムで決着となりました。地元の熱い声援を受けた長谷川選手(前橋女子高校)は、これらの選手に次ぎ5位となりました。

ルート競技 男子決勝

続いて男子決勝が、丸太の裏側半分を使つて直上し、氷壁を経て正面のドライ壁、6mのルーフ壁からさらに2mのルーフ壁の先端がゴールという、ルートの中分近くが天井を登るようなコースで行われました。さすが決勝ともなるとすべての選手が丸太から氷壁までは無難に通過しました。しかし、そこからルーフに入つての長いルートで力の差がでました。結局、吉田選手と昨年度の優勝者奈良選手が完登しました。タイム差で奈良選手をおさえ、優勝は吉田選手となりました。

群馬岳連の運営スタッフ

今回の大会はアイズエクストリームのスタッフの皆さんの企画・設営・渉外・宿泊輸送・通訳・

成績集計などがあつて成立しました。この大会の裏方として、前日から泊り込みで運営を担当された岳連の皆さんを紹介します。受付、ビレーヤー、審判、計時、アイソレーション、ロープ管理などを分担してもらいました。また、埼玉・栃木岳連からも運営スタッフを派遣していただきました。たいへんお疲れ様でした。

佐藤光由(群馬ミヤマ山岳会)
堀越みゆき(大間々山岳会)
赤松久宇(太田山岳会)
後藤文明(境町山の会)
堀越利通(群馬登高会)
見城正造(沼田山岳会)
竹吉功(沼田山岳会)
松田龍彦(前橋山岳会)
星野俊充(境町山の会)
前原勉(大間々山岳会)
角田守(前橋山岳会)
福田純一(大間々山岳会)
長谷川喜久男(高体連)
原口慎太郎(太田山岳会)

ウィル氏のブログ

最後に2009年2月11日のウィル・ガッド(Wil Gadd)さんのブログを紹介します。訳はhttp://blog.g

o.o.ne.jp/saburomamaから引用させてもらいました。

ジャパンカップ
それは素晴らしいイベントでした。

生命力、エネルギー、強くて上手いクライマーたち、そして素晴らしいスポーツマン精神に満ちていました。

クライミングをやっているに良いことのひとつは、世界中の素晴らしい人々と会うことです。ジャパンカップは、ポジティブなエネルギーと、スポーツに対する愛と魂でいっぱいでした。

日本ではアイスクライマーになることは簡単なことではありません。もし、東京に住んでいたら、氷のあるところまで、最低でも3時間、まあ5時間かかるでしょう。北海道でのアイスクライミングは本州と比べると簡単とは言われていますが、それでも「簡単」とは言えません。

日本ではアイスクライマーになるには、アイスクライミングというゲームを本当に愛していなければ、できることはありません。

簡単に説明すると、このコンペ

は、もと炭焼き釜だった建物につけた40フィートの高さの人工壁で行われました。

今年は暖冬でしたが、それでもコンベに必要な氷壁は用意されていました。

そしてその人工壁は大きくても頑丈にできていました。

その村は、六合村というのですが、そのイベントと人工壁に非常に協力的です。まるで、「日本のユーレイ」って感じです。おまけに本当にいい雰囲気温泉までありました！

私はまだ、日本への短い旅行の時差ボケが残っていますが、このような素晴らしいイベントにかかわることができて本当に幸せです。

私はルートをセットして、盛りだくさんの内容の講習会とスライドショーをしました。日本のクライマーたちへの高い評価とともに帰ってきました。

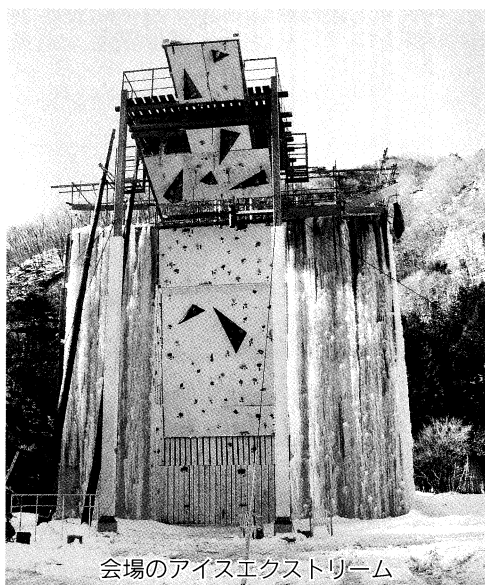
私は、絶対に、また日本に行くでしょう。私を大変親切にサポートしてくれたみなさん、本当にありがとうございました。

本当に素晴らしいです！このイベントについては別に記事を書いて、またアップしようと思います。

第五回アイスクライミングジャパンカップと岳連講習会

《審判の位置で見たこと・得たこと、その他の雑感など》

大間々山岳会 福田純一



会場のアイスエクストリーム

については第八十九号に掲載された昨年の記事を読んで理解を頂きたいがアイゼンの踵爪は国際ルールですすでに禁止である。本競技会では今年は許容されたが、来年からは禁止となる。ヒールフックによるムーブ活用ができる最後のルートセッティングだったと言える。今回はホールド自体の掛かりは悪くないがトリッキーなムーブによる解決を試されるセッティングであるとジャッジをされていて感じた。昨年はホールドが細かく、アックスを置きにくくまた微妙なムーブを強いられる、言うなればスタチックな難しさを出していたが、今回は対照的にダイナミックなムーブといえる。ゲームを見ていて飽きさせないものを感じたの

ではないだろうか。クライミングコンペティションは登山から発生したが既に登山とは異質の世界である。よってギャラリにアトラクティブであることは大会成功への、ひとつの要素となるのであるう。

エントリリー数が昨年の男子二十八人女子十人より少なく、また昨年の頻発した人工ホールドの損壊もなくスケジュールは順調に進められた。

メインとなるルート競技は、予選はセッション方式・決勝はオンサイト方式で昨年同様に行われた。

男子リザルト

- 一位 吉田貢 (完登)
- 二位 奈良誠之(完登)
- 三位 石井昭彦(十五手)

いずれも北海道勢が占めた。一二位は時間差三秒で決した。本州勢の上位候補と目された山岸尚将は残念にも十二手でバウンダ

リを勘違いしデッド(横に渡された角柱の下向き二面のみにフッキングOKの所で上面からフックしてしまった)。群馬の大前義孝は七位、昨年(十位)より腕を上げてきたことを感じた。沼田山岳会・桜澤斉は十六位、同・木暮太二は十九位。

女子リザルト

- 一位 高橋恵 (十五手)
- 二位 石原幸江 (十三手)
- 三位 安達苗穂子(十一手)

群馬の長谷川美玲は五位といえ十手でのデッド、四位山岸亮子が十一手残時間〇秒とは僅差であり、今後ますますの成長が期待される。

先にも述べたが来年からアイゼンは踵爪なしとなる。普段のアイスクライミング用具で対応できるので、地元から更に多くの選手が参加されることを期待したい。

スピード競技はアトラクション

的な課題のタイムレースである。ゴールはフレイパンたたきだが、風邪でゴールが煽られ、すぐにたたけずタイムロスというハプニングも、ご愛嬌とされた。決勝はトーナメント方式。

男子リザルト、一位奈良誠之、

施設概要・レギュレーション

会場施設の氷は開催の一週間前に六合村地域の冬にはまれなシト雨に多くは溶けてしまったそうだが、数日で競技可能に回復結氷させられていた。

二位山岸尚将、三位吉田貢。女子はルートと同じ順位であった。

初日、予選後の時間にはセッターのデモンストレーションによる技術セミナー（一般的テクニックから、自由な発想で楽しんでしまえるようなトリッキーなムーブまで。またトップロープにてアイゼンだけあるいはアックスだけで上る、ついにはアイゼン・アックスともなし。これらの練習は両手両足アイスツール使用の何倍も効果的）やスライドショウ（子供の頃の登山から始まり、アルパインのルート開拓エピソードや様々のアドベンチュア活動と、その時々考えたことなどを、非常に興味深い内容で披露）があった。

決勝ルートセッティングの時間

帯には恒例ともいえる「だれでも参加」のアックス投げ（輪投げの変形ゲーム）は村民の方々にも参加頂いたり、アックスを使った懸垂腕屈伸の回数レース、また大鍋に暖かいお汁粉・山盛りの

鈴・チョコを自由に食べさせるサービスも好評で、楽しい競技会であった。

ここでルートセッターのWill Gadd氏を紹介したい。

カナダ国アルバータ州キャンモア在住の四十一歳。アルバータといえは楨有恒さんらが初登頂した山だが、山頂に刺し残した初登時のピッケルを第二登の米国隊が使用おうとして上半分だけ折れた（注：後にカナダの博物館に保存）、残ったシャフトは後年長野隊が持ち帰っていたのだが、近年二つは日本で合体確認されたというエピソードを開会式の挨拶で述べられ、こういうことは日本・カナダの友好にとっても重要と伝えられた。これに限らず相当の日本最



Will Gadd 講習会

頂のようで、宮本武蔵（二刀流がダブルアックスに通じる？）五輪の書、山伏の修験・山駆などを理解しておられ自らのアルパイン開拓ルートにMUSASHI（武蔵）、YAMABUSHI（山伏）、STEEL KOAN（鋼の公案）等を命名している。

こうした「登山」での活躍のみならず、一般受け分野ではワールドカップを含む国内外のアイスクライミングコンペでたびたび優勝、登山で得た高度馴化を生かした高高度でのパラグライダー飛行（「デイ長距離飛行や国境越」テレビ局が企画した鯨の海でダイビング・氷河上水流でのカヌーイング・氷山のクライミングなど驚くような活動をユーモアたっぷりに紹介してくれた。大会パンフレット巻頭には日本山岳協会の田中会長から「一流クライマーの技術に少しでも触れていただき、今後の活動にいかして欲しい」とあったが、彼の技術・実践の前にあるフィロソフィに接したと感じたの



結氷はスカスカだが充実した講習会

は私だけではないことだろう。

クライミング競技に幅広い人脈を持つ榎戸雄一競技副委員長（日山協 競技委員）のプロデュース・県内外から役員参加された各位のご協力には感謝するばかりである。

【追記・岳連講習会】

翌週十五日には同施設にて群馬岳連のアイスクライミング講習会が行われた。

講師は先述の榎戸氏。

氷に「上手に乗る」テクニックだけでなく、ダミーロープを用いた擬似的リードの練習やドライ壁クライミングから得られる実践力の強化、アルパイン・ハードミッ



ドライ壁練習

クスでもハンドル付きアックス有利（最近ではアックスをアイスツールと呼ぶ人も多い）そのほかに普段できるトレーニングへのアイデア等、感心させられる理念を得た。参加者は九名と少なかったが各位とも新たなクライミングへの意識を高める好機となり、非常に有意義な講習会となった。

群馬岳連会員の多くは、講習会の内容は「もう粗方わかる」ことであろうが、一つでも二つでも認識を新たする意識で参加すれば、講師の言葉の内外から得られるモノ・コトはあるものだ。今後とも、ぜひ多くの方に参加していただきたい。

二位山岸尚将、三位吉田貢。女子はルートと同じ順位であった。

初日、予選後の時間にはセッターのデモンストレーションによる技術セミナー（一般的テクニックから、自由な発想で楽しんでしまえるようなトリッキーなムーブまで。またトップロープにてアイゼンだけあるいはアックスだけで上る、ついにはアイゼン・アックスともなし。これらの練習は両手両足アイスツール使用の何倍も効果的）やスライドショウ（子供の頃の登山から始まり、アルパインのルート開拓エピソードや様々のアドベンチャー活動と、その時々考えたことなどを、非常に興味深い内容で披露）があった。

決勝ルートセッティングの時間帯には恒例ともいえる「だれでも参加」のアックス投げ（輪投げの変形ゲーム）は村民の方々にも参加頂いたり、アックスを使った懸垂腕屈伸の回数レース、また大鍋に暖かいお汁粉・山盛りの

飴・チョコを自由に食べさせるサービスも好評で、楽しい競技会であった。

ここでルートセッターのWill Gadd氏を紹介したい。

カナダ国アルバータ州キャンモア在住の四十一歳。アルバータといえは横有恒さんらが初登頂した山だが、山頂に刺し残した初登時のピッケルを第二登の米国隊が使用おうとして上半分だけ折れた（注：後にカナダの博物館に保存）、残ったシャフトは後年長野隊が持ち帰っていたのだが、近年二つは日本で合体確認されたというエピソードを開会式の挨拶で述べられ、こういうことは日本・カナダの友好にとっても重要と伝えられた。これに限らず相当の日本最



Will Gadd 講習会

頂のようで、宮本武蔵（二刀流がダブルアックスに通じる？）五輪の書、山伏の修験・山駆などを理解しておられ自らのアルパイン開拓ルートにMUSASHI（武蔵）、YAMABUSHI（山伏）、STEEL KONA（鋼の公案）等を命名している。

こうした「登山」での活躍のみならず、一般受け分野ではワールドカップを含む国内外のアイスクライミングコンペでたびたび優勝、登山で得た高度馴化を生かした高高度でのパラグライダー飛行（「デイ長距離飛行や国境越」テレビ局が企画した鯨の海でダイビング・氷河上水流でのカヌーイング・氷山のクライミングなど驚くような活動をユーモアたっぷりに紹介してくれた。大会パンフレット巻頭には日本山岳協会の田中会長から「一流クライマーの技術に少しでも触れていただき、今後の活動にいかして欲しい」とあったが、彼の技術・実践の前にあるフィロソフィに接したと感じたの



結氷はスカスカだが充実した講習会

は私だけではないことだろう。

クライミング競技に幅広い人脈を持つ榎戸雄一競技副委員長（日山協 競技委員）のプロデュース・県内外から役員参加された各位のご協力には感謝するばかりである。

【追記・岳連講習会】

翌週十五日には同施設にて群馬岳連のアイスクライミング講習会が行われた。

講師は先述の榎戸氏。

氷に「上手に乗る」テクニックだけでなく、ダミーロープを用いた擬似的リードの練習やドライ壁クライミングから得られる実践力の強化、アルパイン・ハードミッ



ドライ壁練習

クスでもハンドル付きアックス有利最近アックスをアイスツールと呼ぶ人も多い）そのほかに普段できるトレーニングへのアイデア等、感心させられる理念を得た。参加者は九名と少なかったが各位とも新たなクライミングへの意識を高める好機となり、非常に有意義な講習会となった。

群馬岳連会員の多くは、講習会の内容は「もう粗方わかる」ことであろうが、一つでも二つでも認識を新たする意識で参加すれば、講師の言葉の内外から得られるモノ・コトはあるものだ。今後とも、ぜひ多くの方に参加していただきたい。

平成21年度「日本山岳協会山岳共済会」会員募集中！

1. 「山岳共済会」(入会費無料、年会費1000円)

※高校生及び18歳未満は年会費500円です。

- 山や自然が好きな人の相互扶助と自立をめざす仲間の集まり、それが山岳共済会です。
- 山岳共済会は安全登山をめざし、登山技術の向上や普及、遭難予防と対策など各種の事業を支援しております。
- 山岳共済会は日本の山岳遭難捜索保険の草分けです。4万4000人の会員を持つ最大級の山岳共済です。
- 団体傷害保険は山岳共済会が団体契約している保険です。山岳共済会員にならないと加入できません。

2. 団体傷害保険の種類(家を出てから帰るまで、日常の傷害事故も補償しています)

■団体傷害保険<山岳登山コース>

通常の登山からロープ、アイゼン、ピッケルを使用する登山まで幅広く補償しています。

傷害時の入・通院費用については、オプションの<入院・通院保険>に加入しないと補償されません。

■団体傷害保険<軽登山コース>

ハイキングや軽登山などロープ、アイゼン、ピッケルを使用しない場合の事故に対して補償されます。

■団体傷害保険<山岳登山コース>

保険金額	保険タイプ	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
死亡・後遺		100万円	100万円	159万円	159万円	235万円	238万円	500万円	500万円
遭難捜索		100万円	100万円	150万円	150万円	200万円	200万円	500万円	500万円
入院(1日)		1,000円	—	1,000円	—	1,500円	—	2,500円	—
通院(1日)		600円	—	600円	—	900円	—	1,500円	—
賠償		1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料		5,850円	3,560円	7,490円	5,200円	10,440円	7,000円	21,680円	15,950円

■団体傷害保険<山岳登山コース・中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
4月	5,850	3,560	7,490	5,200	10,440	7,000	21,680	15,950
5月	5,360	3,260	6,870	4,770	9,570	6,420	19,870	14,620
6月	4,880	2,970	6,240	4,330	8,700	5,830	18,070	13,290
7月	4,390	2,670	5,620	3,900	7,830	5,250	16,260	11,960
8月	3,900	2,370	4,990	3,470	6,960	4,670	14,450	10,630
9月	3,410	2,080	4,370	3,030	6,090	4,080	12,650	9,300
10月	2,930	1,780	3,750	2,600	5,220	3,500	10,840	7,980
11月	2,440	1,480	3,120	2,170	4,350	2,920	9,030	6,650
12月	1,950	1,180	2,500	1,730	3,480	2,330	7,230	5,320
1月	1,460	890	1,870	1,300	2,610	1,750	5,420	3,990
2月	980	590	1,250	870	1,740	1,170	3,610	2,660
3月	490	300	630	430	870	580	1,810	1,330

■団体傷害保険<軽登山コース>

保険金額	保険タイプ	I	II
死亡・後遺		176万円	276万円
救援者費用		300万円	300万円
賠償		1億円	1億円
入院(1日)		2,000円	4,000円
通院(1日)		—	1,700円
保険料		2,000円	5,000円

■<軽登山コース>の注意

※軽登山コースの救援者費用は疾病の時には補償されませんのでご注意ください。

<中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	I	II
4月	2,000	5,000
5月	1,830	4,580
6月	1,670	4,170
7月	1,500	3,750
8月	1,330	3,330
9月	1,170	2,920
10月	1,000	2,500
11月	830	2,080
12月	670	1,670
1月	500	1,250
2月	330	830
3月	170	420

■<海外山岳コース>

契約基本タイプ

死亡・後遺 100万円
遭難・捜索 500万円
個人賠償 1億円

保険料は対象の山岳、日数により個別に見積りすることになりましたので山岳共済事務センターにお問合せ・申込をお願い致します。

■保険料の例

保険期間9日迄 3,910円
30日迄 7,300円

3. 団体傷害保険加入方法(継続会員ならびに団体申込会員)

- 「共済会費+団体傷害保険保険料」を払い込んでください。

(例) 団体傷害保険1Cコースに6月から加入する場合

共済会費+団体傷害保険保険料(1,000円+8,700円=9,700円)を払い込んでください。

- 共済会新規加入者は先に共済会入会申込(入会費無料)をし、入会受付確認後上記手続きをお願いします。

事務受託: 日本山岳協会山岳共済事務センター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707 月~金 10:00~17:00(土・日・祭日除く)

電話 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397 Eメールアドレス sangakukyousai@mdbd.ocn.ne.jp

第14回群馬カップ2009報告

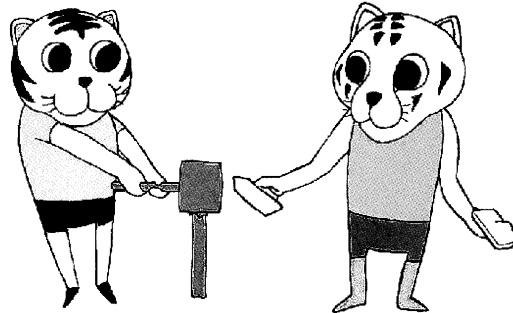
群馬県高体連登山専門部 長谷川喜久男

第14回群馬カップ2009

2009年4月19日(日)

(本大会は、平成21年度国民体育大会山岳競技群馬県予選会を兼ねて開催します。)

会場 ウォールストリート 前橋店



後援
協賛

ウォールストリート	IC石井スポーツ高崎店	IC石井スポーツ太田店
石井・Dream Box	アルテリア(株)	キャパシ(株)
ワイルドワン高崎店	KEM(株)	(有)ミノー
ロストアロー(株)	アンアブルナリム公園	山田りん公園
開らん公園	ウォールストリート	長谷川商店

大会は、2009年4月19日(日)に平成二十一年度国民体育大会山岳競技群馬県予選会を兼ねて開催されました。会場は前回同様に「ウォールストリート前橋店」で、オープン部の部には三十八人、ピギナーの部に十四人、キッズの部には八人のエントリーがありました。

これは、ボルダリングとリードの2種目を行い、それぞれの順位の合計で総合成績をつけるというものです。近県でもようやく今年あたりからこの形式の予選が始まっています。このように新しいことを柔軟に取り入れることができ、アيسクライミングジャパンカップの運営も主管することができ、群馬岳連の力量は、全国的にも高く評価されると思います。

競技のカテゴリーについては毎年のように議論のあるところで

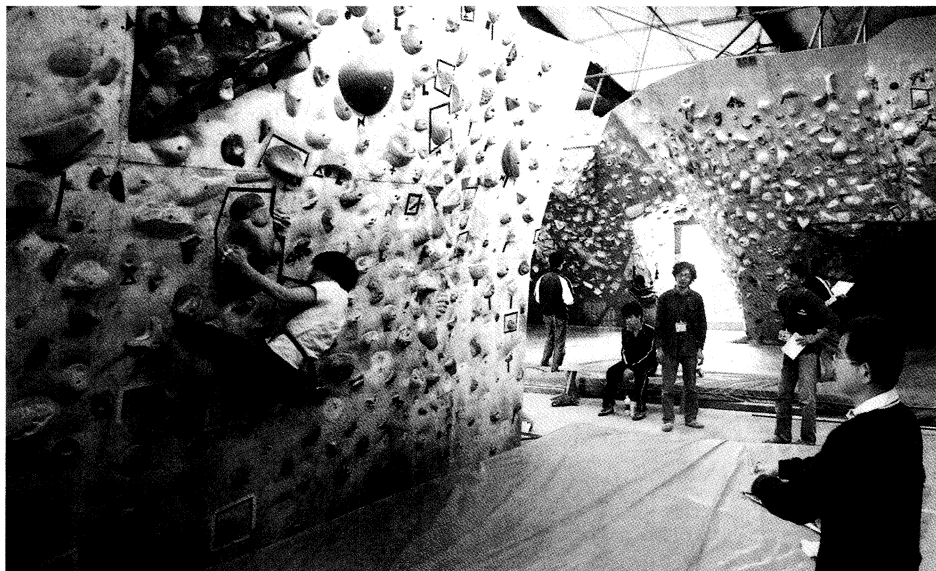


す。まず、今回の参加者のおおまかな年齢別は、成人26%、高校生58%、中学生以下21%となっています。年によって変化はありますが、大半を占めるのは高校生となっています。この高校生選手のクライミングの実力には、国体選手を目指す人から始めて間もない人まで大きな隔たりがあり、今回のようにオープンとピギナーの2つに分けるには無理がある点が指摘されます。オープンには成人の国体選手や県外からの有力な選手が参加し、高校生とのレベルの違いを感じます。オープンでは有力な選手の

順位をつけるために競技ルートのレベルが高くなり、高校生は下の方で団子状態になっており、高校生にとつて的確な順位付けとされない点が挙げられます。ピギナーについても参加者のとらえ方は様々で、レベルの差が大きいものとなっています。競技人口を増やし有力な選手を養成したいという観点からこの中間に位置するカテゴリーを設けたいところですが、限られた施設と運営時間から実現は困難な状況です。キッズ

は今年の参加は少なめでしたが、キッズの大会が全国的に見ても少ないので、参加者も多く需要が高いカテゴリーです。できれば、ここに県内からの選手が多く参加してもらえれば将来の明るい見通しができます。宣伝を挟ませていただきますが、岳連会員の皆様から小中学生のクライミング体験者を増やすような取り組みを、ぜひお願いいたします。

国体山岳競技は、昨年度からリードとボルダリングの2種目に



よるクライミングの競技となりました。しかし、簡単に明るい未来がある競技とはい切れません。その一つが競技人口と施設数の少なさでしょう。群馬でも本格的に営業しているクライミングジムは一ヶ所しかありませんし、野外の岩場などでクライミングを楽しんでいる人の人数の把握さえできてはいません。高体連の大会には三

年前からクライミング選手権が導入されました。それでも現状では高校で山岳部に入学した生徒の一部が細々とクライミングをしている状況です。これが中体連の大会にも広まれば、毎年ある程度の選手が生まれてくることにつながると思います。さらにスポーツ少年団などのような活動が生まれ、小学生にクライミングが広まる事が

その前提となるかも知れません。一方、県外の大きなクライミングジムに行ってみると、リードクライミングを楽しんでいるたくさんの中高年の人たちを見かけます。山登りの延長でクライミングが広まっていると感じられます。県内でも中高年の登山愛好者は相当数いると思われます。この人たちにクライミングが広まると情勢

は大きく変わるのではないでしょう。うか。そして、群馬でクライミングのチャンピオンを決めるといいう伝統ある「群馬カップ」のますますの発展も期待されるところです。最後に今回の成績をまとめると以下のとおりです。

- 《群馬カップ2009の成績》
- オープン
- | | |
|------|----------|
| 1位 | 富澤太郎(群馬) |
| 2位 | 堀込 悟(群馬) |
| 3位 | 國井敬一(茨城) |
| ビギナー | |
| 1位 | 星野朋美(群馬) |
| 2位 | 桑原美樹(群馬) |
| 3位 | 三田智子(群馬) |
| キッズ | |
| 1位 | 波多悠貴(埼玉) |
| 2位 | 大高伽弥(東京) |
| 3位 | 磯前京香(茨城) |

《国民体育大会山岳競技群馬県予選会の成績》

成年男子

- | | |
|----|------|
| 1位 | 富澤太郎 |
| 2位 | 堀込 悟 |
| 3位 | 高本憲孝 |

成年女子

- | | |
|----|-------|
| 1位 | 坂庭敦子 |
| 2位 | 長谷川美玲 |
| 3位 | 吉田真知子 |

少年男子

- | | |
|----|------|
| 1位 | 堤 孔明 |
| 2位 | 壁 優和 |
| 3位 | 上原久司 |

少年女子

- | | |
|----|------|
| 1位 | 大澤咲子 |
| 2位 | 星野朋美 |
| 3位 | 桑原美樹 |

稜線で幕営

平成21年度登山教室

県内の登山者に岳連が何を提供できるかの趣旨で、登山事故防止と、余裕のある登山を目標に、恒例の登山教室が開催された。

読図の実践と幕営登山の実技講習を赤城山と平標山で行った。稜線上での幕営は初めてのことで準備等大変なものであったが、雨上がりの紅葉の中、参加者には大変好評であった。一昨年から始まった自然保護の座学を今年も平標小屋で実施し、日頃忘れがちなことを再認識する機会としてもらった。十四人の指導員に協力していただき、無事教室を終えることができた。

四十二名の申込みがあったが、参加者は三十五名、全回出席で修了証を獲得された方は十九人であった。平均年齢は五十八歳、最高年齢は七十八歳、最少年齢二十七歳であり、男性二十一名、女性十四名であった。

また、2006年度から始めたスノーシュー講習を2月に予定し

群馬岳連登山指導委員会 高橋 守男

ている。七名から申込みがあり、今後山域や内容を工夫し、参加者のニーズに応じていきたい。

概要・反省・課題としては次のようにまとめられると思う。これらを次回へ活かしたい。

① 募集方法 五十人を目標に募集したが、ここ数年は三十分から四十人位で推移している。少なすぎて実施できないわけではないが、もう少し増やすには新たな募集方法が必要である。

② 初めて稜線上テント泊・小屋泊を実施した。参加者は共同装備の入れられるザックを持つ人がほとんど無く、班長が背負い上げねばならない班もあるなど、班長への過重な負担が問題であった。反面、日帰りの実技講習では得られなかった交流をすることができ、有意義であったという感想が多く聞かれた。

③ 座学内容「登山と自然保護」

で自然保護委員会と共同できたが、岳連の他の委員会に登山教室にいかに関わってもらうかは今後の課題である。

④ 始めて四回目となるスノーシュー講習を2月20日に予定している。武尊牧場や谷川岳沢巡りが候補地にあがっている。積雪期の講習としてほぼ定例化されつつあり、冬の登山活動の一つとして更に参加者を増やせる余地があると思われる。

内容

9月2日(水)開講式・講義

「読図」 講師 横山

9月6日(日)登山実技

「地蔵岳周辺、小沼・長七郎山、五輪峠から薬師岳」

9月30日(水)講義

「食料」講師 久保田

「班分け・食料計画・装備確認」10月3日(土)4日(日)登山実技「平標山・松手山」・講義・閉講式

平標小屋泊8人 避難小屋泊5人 テント泊11人

「登山と自然保護」講師 斉藤

「テーピング」講師 阿部

「危機対応」講師 角田

「修了証交付」

講師

阿部 源 群馬ミヤマ山岳会

新井 好司(高体連) 事務

久保田一美(太田山岳会)受付

斉藤 長作(松井田山岳会)

佐藤 洋志(松井田山岳会)

佐藤 光由(群馬ミヤマ山岳会)

鹿田 雄三(高体連)

高橋 守男(沼田山岳会)総務

角田 守(前橋山岳会)

登坂 巖(高体連) 会計

星野 俊充(境町山の会)

山田 精一(高体連) 事務

横山 寿雄(高体連)

吉田 直人(境町山の会)



第六回自然観察会報告

群馬岳連自然保護委員会 須田久男

第六回自然観察会が二〇〇九年八月二日、谷川岳(芝倉沢)までの出合廻りコースで自然保護に関心のある登山者を集めて開催されました。一般参加者38名、関係役員10名、講師に関 敏雄氏(動物、猛禽類)と阿部利夫氏(植物)の2名で合計50名の参加者で行われました。天候は、朝方小雨、曇り時々晴れと一日中不安定な天候でした。コースは、土合、谷川岳山岳資料館前を午前7時30分出発、マチガ沢出合8時00分、一ノ倉沢出合8時30分に着き、20分ほどの倉沢の解説を八木原さん、斉藤さんにして頂き、一般の参加者から多くの質問が有り有意義な時間でした。幽の沢出合9時00分、芝倉沢出合10時00分、芝倉沢大岩手前10時30分に着き、この時には天候も回復し、芝倉沢の美しい流れと朝日岳や笠ヶ岳の展望を楽しみながら、一時間ほど昼食を取り、11時30分に出発し帰路に着いた。幽ノ沢出合12時30分、一ノ倉沢出



合13時00分、マチガ沢出合13時30分、土合、谷川岳資料館に14時00分到着し、解散式を行なって、14時40分に解散しました。
今回の感想としては歩き易いコースでしたが花は思っていたよ

り少なく、ガクアジサイ、シモツケ、ニコウキスゲ、コオニユリなどが咲き、木々の緑と一ノ倉沢を始めとして色々な沢の出合廻りが出来、仲でも芝倉沢は深い緑と白い沢の流れが美しかった。また講師による、植物の生態系の話と熊や鹿の生態系の話興味深いものでした。今後も自然観察会を行い自然保護と安全登山を楽しんで行きたいと考えています。

岳連トピックス

「木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会」設立される

日本山岳界の黎明期に活躍した登山家で、優れた山岳研究と紀行文を収録した『山の憶ひ出』や『登山の今昔』で知られる木暮理太郎の足跡を辿り、遺徳を偲び偉業を称えようと、生地新田郡強戸村寺井(太田市寺井)の地元、太田市強戸山岳会や太田山岳展望を楽しむ会が中心となって、平成二十二年二月二十一日、太田市強戸行政センターにおいて、設立総会と記念講話・映写会が開催され、「木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会」が発足した。

記念碑(肖像レリーフ)前で開催されており、二〇〇九(平成二十二年)十月十七・十八日には、第五十回木暮祭が、太田市強戸山岳会や生家を守る木暮英雄氏ら親族も参加して開催され、約一二〇名が献花、記念講演や映写会・ハイキングも行われて翁の業績を偲んだ。

「語り継ぐ会」では、理太郎忌・偲ぶ会、山岳展望会、講演会、軽登山、演奏会、学習会等多彩な計画を立てて翁の業績を伝えていく活動を進めることになった。

木暮理太郎が第三代会長であった日本山岳会や山梨県山岳関係者によって、彼の功績を称える「木暮祭」が、一九六〇(昭和三十五)年以来、山梨県金峰山麓金山平の



羽野順一氏
山田 豊氏群馬県体育協会会長賞
スポーツ功労者賞を
受賞

群馬岳連会長羽野順一氏は、群馬県体育協会評議員として平成九年度から二十年度まで6期十二年をつとめ、本県スポーツ振興に尽くした功績により、群馬県体育協会会長賞スポーツ功労者賞を受賞した。

また、山田 豊氏は、国体山岳競技大会に五回の入賞を果たし、平成九年、県連盟競技部コーチ（縦走種目担当）に就任後十年間にわたり、本県山岳競技選手の指導育成と競技力向上に尽力し、競技登山のレベルアップに大きく貢献したことから、群馬県体育協会会長賞スポーツ功労者賞を受賞した。

両氏は、二月十二日、群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館で行われた受賞式において表彰された。



十月第一日曜日を

『ぐんま山の日』に

二〇一〇年二月一八日、「ぐんま山と森の月間」推進協議会が群馬県庁で開催され、「ぐんま山の日」が、毎年10月第一日曜日と制定されました（平成22年は10月3

日）全国育樹祭）。10月3日（日）には、「ぐんま山の日」制定記念イベントとして、講演会・シンポジウム等の開催が計画されています。また、左記のとおり宣言文が承認されました。

『ぐんま山の日』の制定について（宣言）

群馬県は利根川の上流にあり、三方を山で囲まれています。谷川岳や日光白根山などの2000メートル級の山岳から、県民に広く親しまれている赤城、榛名、妙義の上毛三山、尾瀬国立公園を代表とする貴重な自然や湖沼など、その山々が織りなす大自然は多様で変化に富んでいます。

これらの山々は緑豊かな森林に覆われ、私たちは、その森林から清らかな水、さわやかな空気、美しい景色など様々な恵みを受けています。

また、森林は二酸化炭素を吸収することで地球温暖化防止にも貢献しています。

私たちの暮らしは、山や森によって支えられ、山や森と深く結びついていることをみんなで見つめ直すことが必要です。

私たちは、平成20年3月、毎年10月を『ぐんま山と森の月間』と定め、山や森林に親しみ、そこに学び、その恵みに感謝し、そこを守る取り組みを率先して推進する活動を展開しています。

今年10月3日には、『第34回全国育樹祭』が群馬県で開催されます。育樹祭開催は、私たちのこれまでの取り組みを一層拡充する良い契機となります。

そこで、私たちは、第34回全国育樹祭の開催を記念して、10月の第一日曜日を『ぐんま山の日』と定め、『山と森の月間』の開幕を告げる日とすることを宣言します。

平成22年2月18日 『ぐんま山と森の月間』推進協議会

味のりんご

アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町 1231 TEL・FAX 0278-23-6802

<http://annapurna.jp>

Annapurna

総合建設業 空調・衛生・消防設備工事

石原工業株式会社

本社 渋川市有馬 164

☎ (0279) 24-7111(代)

工事部 渋川市赤城町北上野 203

☎ (0279) 56-8111(代)

電話、弱電工事

プモリ電設

〒 379-2223

伊勢崎市小泉町 252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026